



町別児童会と校外生活

7月14日(金)に町別児童会を行いました。PTA社会教育部の皆様には、お忙しい中、町別児童会にご参加いただき、ありがとうございました。

学期末の町別児童会では、右のような内容について町ごとに確認をしたり、話し合ったりしました。下校は学年下校が中心ですが、登下校中のトラブルは少なくありません。

【町別児童会の主な内容】

- 通学班名簿の確認
- 通学班の確認(集合時刻・場所・並び方など)
- 夏休みのくらしについて
- 地域・教員からの伝達事項

これまでに、班長や副班長からは、「きちんと並んでくれない」「追い越す人がいる」「言うことを聞いてくれない」というようなことが挙がっていました。班長、副班長以外の子どもたちからは「班長が待ってくれない」「班長や副班長が話をしながら登校している」というような声が聞こえていました。



このような場合には、該当の通学班に事情を聞いて、安全に登校するよう指導をしています。今回の町別児童会でも安全な登下校の仕方について確認をしています。

夏休み中の校外生活や地域の行事などについても、各地域の実情に合わせて指導をしています。ため池や用水路がある地域では、水の事故に十分気を付けなければなりませんし、幹線道路に近い地域では、他の地域以上に交通安全に努める必要があります。

このように校外生活に関する指導を、町別児童会などを通して行っています。しかし、登下校や校外生活の事故やトラブルを防止することは、学校だけでできるものではないことは、十分ご承知のことと思います。保護者・地域の皆様や警察などの協力は欠かせません。各学年に応じて「夏休みのくらし」を基にして、学校で指導をいたします。ご家庭でも、配付された「夏休みのくらし」を基にして、校外生活についてお子様と一緒に話し合っただけだとお思います。ご協力をお願いいたします。

EILS(えひめ ICT 学習支援システム)の利用

高学年を中心に、EILS(エイリス：えひめICT学習支援システム)を利用して、これまでの学習振り返り



をしたり、図書の利用を促進したりしています。「10分間テスト」ということで、各教科のテストを実施している学年もあります。タブレット端末を利用して、普段の授業や家庭学習に取り入れていますので、夏休み中も活用してほしいと思います。